

浄化槽の正しい使い方は

浄化槽内は、公共下水道とちがって、限られた容器の中で、微生物が汚物を食べて汚水を浄化していますので、微生物が働きやすい環境をつくるため、次のことを必ず守ってください。



- 槽内には異物(新聞紙、タバコの吸いがら、ゴム類、綿など)を流さないでください。

- トイレットペーパーは、水にとけやすいもの(JIS規格に合格したもの等)を使用してください。

多量に使いすぎますと短期間で汚いでが多くなり、清掃の時期を早めます。





●タイルの漂白剤、クレゾール、中性洗剤などを使用すると浄化槽内の微生物を死滅させるなど、浄化槽の機能を低下させる場合があります。

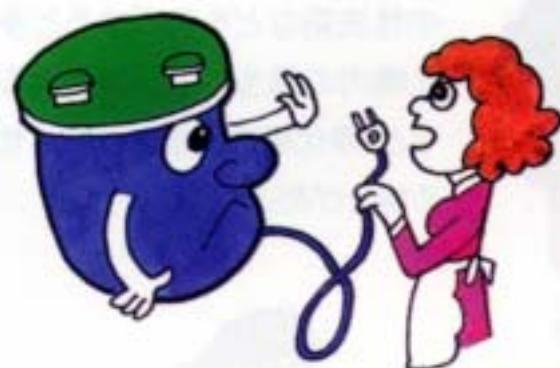
- 便器の掃除には、水又はぬるま湯を使用してください。



●排気管、送気口(格子蓋)は、酸化の機能を保つために必要なものですから、絶対にふさがないようにしてください。

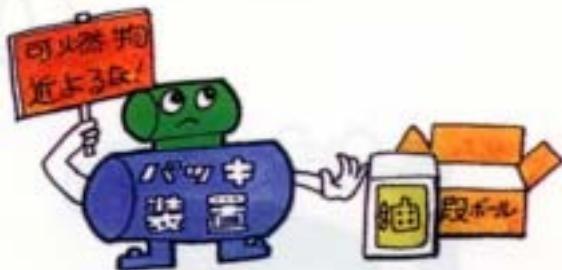
- 浄化槽のふたの上には、点検・清掃などの作業ができるように荷物などを置かないでください。





●モーターを使用している
浄化槽は、電源を切らな
いで常時運転するよう
してください。

●ばっ気装置は、熱を持つ
ことがありますので、カ
バーの上や、その周囲に
は、燃えやすい物を置か
ないでください。



●浄化槽の放流水は、環境
衛生上支障のないよう消
毒することになっています。
消毒薬は常に補充してく
ださい。

